



東北大学

報道機関各位

配付先：宮城県政記者会

平成24年9月13日
東北大学大学院理学研究科

講演会のお知らせ

東日本大震災を知る：私たちの安心・安全のために
～3.11の教訓と今後の展望～

東北大学グローバル COE プログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」は、講演会「東日本大震災を知る：私たちの安心・安全のために～3.11の教訓と今後の展望～」を開催いたします。

本グローバル COE プログラムでは、東日本大震災発生からこれまでの約1年半の間、東日本大震災を引き起こしたマグニチュード9.0の2011年東北地方太平洋沖地震の発生メカニズム、それに伴う巨大津波の発生と被害状況、福島第一原発の事故による放射線汚染の海洋拡散などの調査・研究を行い、東日本大震災の全容解明を目的とした研究を進めてきました。

本講演会では、東日本大震災とはどのような地震だったのか、津波はどのようにして海岸まで到着したのか、海洋の放射能汚染の状況などについて、これまでの私たちが得てきた研究の成果を、市民の皆様にわかりやすく伝えることを目指しております。参加費は無料で、事前登録も必要ありません。興味ある方は奮ってご参加ください。

<記>

- 日 時：平成24年9月25日（火）13時30分～17時00分
- 場 所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール
仙台市青葉区大町2-12-1 電話 022-263-6931 ※別添チラシ参照
- 参加費：無料 ※事前登録は必要ありません。当日会場にお越しください。
- 主催：東北大学グローバル COE プログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」

【プログラム】

- 13:30 開会の挨拶：大谷 栄治 教授（東北大学大学院理学研究科・GCOE 拠点リーダー）
13:40 巨大地震は何故起こったか？
松澤 暢 教授（東北大学地震・噴火予知研究観測センター）
14:20 巨大地震を海底で測る
日野 亮太 准教授（東北大学地震・噴火予知研究観測センター）
15:00 休憩
15:20 巨大地震津波による被害と教訓
越村 俊一 教授（東北大学災害科学国際研究所）
16:00 海洋の放射能汚染
花輪 公雄 教授（東北大学 理事）
16:40 総合討論
17:00 閉会

以上

(お問い合わせ先)

東北大学地震・噴火予知研究観測センター
中島 淳一 准教授
電話 022-795-3929
e-mail nakajima@aob.gp.tohoku.ac.jp

東北大学グローバル COE 地球惑星科学事務室
(担当：吉米地)
電話 022-795-6668
e-mail jimmu@gcoe.es.tohoku.ac.jp

講演会のお知らせ

日時：2012年9月25日(火)
開場13時 開演13時30分
場所：仙台市戦災復興記念館
記念ホール

東日本大震災を知る

わたしたちの安全・安心のために

～ 3.11の教訓と今後の展望～

本講演会では、東日本大震災とはどのような地震だったのか、津波はどのようにして海岸まで到着したのか、海洋の放射能汚染はどのように広がったのか、などについて、最新の研究成果をご紹介します。参加費は無料ですので、興味ある方は奮ってご参加ください。

講演者のご紹介



大谷 栄治 教授
東北大学大学院
理学研究科、
GCOE 拠点リーダー



松澤 暢 教授
東北大学大学院
理学研究科



日野 亮太 准教授
東北大学大学院
理学研究科



越村 俊一 教授
東北大学
災害科学国際研究所



花輪 公雄 教授
東北大学・理事

講演会プログラム

- 13:30-13:40 開会の挨拶 大谷 栄治 教授
- 13:40-14:20 「巨大地震は何故起こったのか？」 松澤 暢 教授
- 14:20-15:00 「巨大地震を海底で測る」 日野 亮太 准教授
- 休憩
- 15:20-16:00 「巨大地震津波による被害と教訓」 越村 俊一 教授
- 16:00-16:40 「海洋の放射能汚染」 花輪 公雄 教授
- 16:40-17:00 総合討論

参加無料

主催：東北大学グローバルCOEプログラム
「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」
問い合わせ：グローバルCOE地球惑星科学事務室
TEL/FAX 022-795-6668
jimu@gcoe.es.tohoku.ac.jp

URL：http://www.gcoe.es.tohoku.ac.jp/finalsympo/

会場案内
戦災復興記念館
仙台市青葉区大町二丁目12番1号
022-263-6931

